

## 教職員自己紹介

Armin Lawi (あるみん らうい)

実習助手

本籍はインドネシアのスラウェシ島南スラウェシ州 (\*1) マカッサル市 (\*2) です。1995年にハサヌッディン大学 (\*3) 理学部数学科を卒業して、理学学士号を得ました。同年、同大学の理学部数学科講師に就き、私立大学ディパネガラ情報経営大学情報理学部講師を兼任しました。1998年に来日し、九州大学システム情報科学研究科から情報工学修士課程に入学し、2001年に修士号を得ました。2002年には、九州大学博士課程在学中にハサヌッディン大学の助教授になりました。現在は、九州工業大学大学院情報工学研究科情報創成工学専攻博士後期課程に在籍しています。



研究テーマは適応型分散システムにおける一般競合解決問題に関する研究です。適応型分散システムとは様々な機器が自由に接続できるオープンな分散環境における変化への適応性に主眼を置いたものです。適応型分散システム上では、分散相互排除問題や並行制御問題などがあります。これらを一般化した問題である一般競合問題を研究しています。

本学部では実習助手としてはじめてで、前期は情報リテラシー、同演習、情報技術者理論、離散数学 I 演習、後期は離散数学 II 演習、プログラミング基礎、同演習を補佐します。特に数学やアルゴリズムおよびプログラムなどが好きです。質問があれば、私も思い出しながら一緒に考え解答していきたいとおもいます。日本語の勉強になるので遠慮なく来てください。

趣味としては自然が大好きで、特に景色の山や海などのような場所を運転しながら楽しく見るのは大好きです。

\*1 <http://www.sulsel.go.id/>

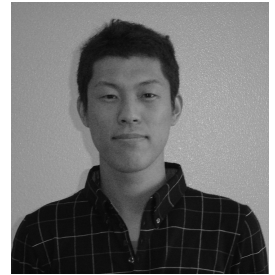
\*2 <http://www.makassar.go.id/>

\*3 <http://www.unhas.ac.id>

千代延 昭宏 (ちよのぶ あきひろ)

実習助手

1980年生まれ。島根県出身。高校卒業後、大学に進学するため福岡にやってきました。以来、7年間福岡に住んでいます。大学ではパソコンの頭脳であるプロセッサについて研究しています。現在、プロセッサには主に処理性能向上と低消費電力化という2つの課題があります。一般に、プロセッサの処理性能を向上させると消費電力が増加してしまいます。そのためこれらの課題を満たすことは難しいのですが、私はプロセッサ内で実行される命令をうまくスケジューリングしてやることにより処理性能向上と低消費電力化の両立を目指しています。



講義では情報回路と情報科学基礎実験を担当しています。皆さんが情報回路や情報科学基礎実験で学んでいる内容は、情報機器の基礎技術である非常に重要な部分です。講義内容でわからない部分があるときは、そのままにしないで気軽に実習助手室に質問に来て下さい。

最後に、大学の4年間はあっという間に過ぎてしまいます。卒業するときに後悔しないように、全力で遊んだり学んだりして充実した学生生活を送って下さい。

2002年3月 九州工業大学情報工学部知能情報工学科卒業。

2002年4月 九州工業大学大学院情報工学研究科情報科学専攻博士前期課程 入学。

2004年3月 九州工業大学大学院情報工学研究科情報科学専攻博士前期課程 修了。

現在、九州工業大学大学院情報工学研究科情報科学専攻博士後期課程 在学中。

情報処理学会, IEEE 各会員。